

ESG経営の推進に向けた取り組み

NTTグループは、「Environment(環境)」、「Social(社会)」、「Governance(ガバナンス)」に関する課題に適切に対応するESG経営を推進することで、事業リスクを最小化するとともに、事業機会を拡大することにより、持続的な企業価値の向上を図ります。社会への影響や経営基盤の維持等の観点から、5つのマテリアリティを特定し、それぞれに対応する目標値の設定や取り組みを実施しています。

	関連する経営資源	関連するSDGs	マテリアリティ(重要課題)	中期経営戦略への組み込み状況	主な取り組み	目標値
環境 Environment	研究開発 人材 ブランド ICT基盤 財務基盤 顧客基盤		環境負荷の低減	• 環境負荷の低減 • ICT利活用による環境への貢献	• 環境負荷ゼロの推進 - 環境負荷低減への事業活動の推進 - R&Dによる限界打破のイノベーション創出 • 電力効率の向上 • eモビリティの推進 • スマートエネルギー事業の推進	• 自らの再生可能エネルギー利用 30% 以上(2030年度) • 通信事業の電力効率 10 倍以上(2030年度)* • 国内一般車両のEV化率 100% (2030年) • 社会のCO ₂ 排出量の削減貢献量 自社排出量の 10 倍以上(2030年度) • 廃棄物の最終処分率 1% 以下(2030年度)
社会 Social			セキュリティの強化	• 個人情報保護の徹底 • お客さまのセキュリティ強化を支援	• セキュリティ推進体制の維持、強化 • セキュリティビジネスの推進	• 個人情報漏えい件数 0 件
			災害対策の強化	• 災害対策の強化	• 通信サービスの安定性と信頼性の確保	• 安定サービス提供率 99.99% • 重大事故発生件数 0 件
			多様な人材の活用	• ダイバーシティの推進	• リモート型の働き方を推進するための環境整備 • 女性活躍の推進 • グローバルダイバーシティの推進 • 障がい者雇用に関する取り組み • サプライチェーンにおける人権尊重 • 研究者の処遇制度見直し	• 女性管理者比率(2025年度) 10% 以上 • 障がい者雇用率 2.2% • 従業員満足度 前年度以上
ガバナンス Governance			持続的成長に向けたガバナンス強化	• コーポレートガバナンス・コードの趣旨を踏まえた体制の強化 • グローバルガバナンスの強化	• ガバナンスの更なる強化 • 取締役会実効性の評価	

* 対2013年度
※ 目標値の下線項目は米国サステナビリティ会計基準審議会(SASB)が定める基準に関連した項目です。

外部からの表彰



事業リスクの最小化
事業機会の拡大

持続的な企業価値の向上